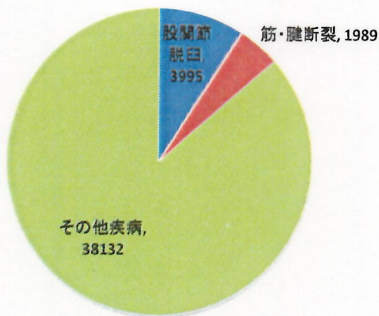


コンクリート通路の滑り止め加工

平成28年度 北海道NOSAI
死廃事故内訳



<頻発する牛舎内の転倒事故>

左は昨年度の北海道NOSAIに届け出られた乳牛の廃用件数とその内訳を示しています。

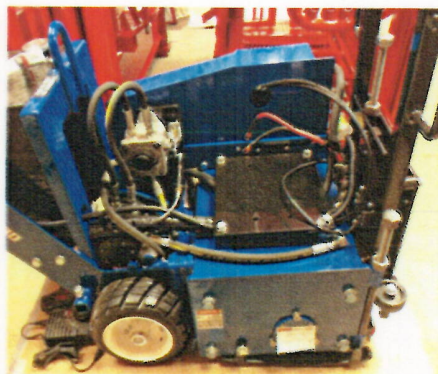
年間およそ44,000頭の廃用事故がある中で、およそ14%に相当する6,000頭が、転倒事故による脱臼あるいは筋・腱断裂であることが分かります。

特にフリーストール牛舎ではコンクリート通路の不十分な目地デザインや経年劣化、通路表面の滑化による牛の転倒事故は、直接死廃事故につながることから大変な問題です。

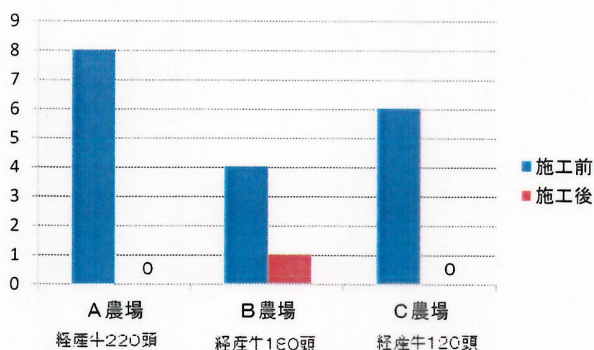
しかし一度施工された通路目地デザインを変更することは容易ではありません。今回、転倒事故の多発する酪農場において、Trak Rite™を用いたコンクリート通路の滑り止め加工をおこない良好な成績を得たので報告します。

3件の異なる通路目地パターンをもったフリーストール酪農場において、COWHAPPY社（代表 林タカヒト氏、山梨県）によるTrak Rite™を用いたコンクリート通路のTexturing加工（コンクリート表面を削り滑り止めをする加工）をおこない、加工前後の9か月間における転倒による死廃事故の発生件数を調査しました。

Trak Rite™ コンクリート表面への滑り止め加工機械 (Texturing, ManyGroove)



施工前後の転倒による死廃事故件数



<結果>

加工前後の転倒による死廃事故発生件数は

A農場（経産牛220頭飼養） 8件vs 0件

B農場（経産牛180頭飼養） 4件vs 1件

C農場（経産牛120頭飼養） 6件vs 0件

と、3件の酪農場すべてで大幅に減少しました。

Trak Rite™を用いたコンクリート通路の滑り止め加工は転倒事故の解決に有効な手段と思われます。また、コンクリート通路の滑り止め加工は白線病発生の予防効果もあるという報告もあり、今後の検討事項となるでしょう。